



5月号
(第401号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



「早く大人になりたい」みなさんへ

総務部長 大野 潤

みなさんは映画に心を揺さぶられたことはあるでしょうか。私は高校、大学の時にたくさん映画を見る機会に恵まれました。今とは違い、レンタルや配信の無い時代です。見るだけでは徐々に物足りなくなり、友人と映画（のようなもの）を撮ったこともあります。

映画は映画館で上映することを前提に作られています。カメラワークであったり、撮影スケジュールであったり、テレビドラマとはまた違う手法で制作されています。専門的なことは抜きにして、映画の良さは、主人公が経験する、現実にはあり得ない人生を疑似体験できることです。映画館にいる約二時間は別世界です。

中高生のみならずは、早く大人になりたいと思ったことがきつとあると思います。そんなみなさんに作品を二つ紹介します。（もう映画館では見られませんが…）

まず、トム・ハンクスが若い頃に主演した「ビッグ」です。十二歳の主人公ジョッシュは背が低いことが悩みでした。ジョッシュが移動遊園地で、望みをかなえる魔王のボックスにコインを入れ、翌朝目覚めると体だけ大人に成長していた…というストーリーです。ジョッシュのピアノ演奏のシーンは曲とともに特別にお勧めです。

「ビッグ」と似ているようで似ていない設定の作品が、ロビン・ウィリアムス主演の「ジャック」です。主人公のジャックは生まれつき細胞の分裂が異常に速く、四倍の早さで成長します。十年後、同じ年頃の友人がいないジャックに、家庭教師は学校に行くことを勧めます。四十歳の外見を持つジャックは小学校へ通い始めますが…

両作品ともコメディの要素もあり、難しい作品ではありませんが、同じメッセージが込められているように感じます。またそれぞれの俳優、監督には、他にもっと有名な作品があるので、色々見てみるのも面白いかもしれません。

今はどんな情報でもインターネット、SNSを使って簡単に手に入れることができます。戦場からでさえ、リアルタイムで状況が報道されます。ここで紹介した作品なども検索すれば詳しく知ることができます。そんなものが無かった時に学生生活を過ごした私としては、世の中変わったことと実感させられます。でも変わっていないと思うこともあります。私が大学の卒業論文で取り上げた旧ソ連の映画監督、アンドレイ・タルコフスキーは何十年も前に「表現の自由」を求めて亡命しました。歴史は繰り返されると思います。今の世界を見ていると人間は同じことを繰り返しているような気がします。

令和四年度 武庫川フェスティバル

〜紡ぐ・織りなす〜

五月二日（月）・三日（火）、本校で武庫川フェスティバルを開催しました。感染症拡大の影響により、過去二年間は、無観客での開催、さらには日程変更を余儀なくされるなかでの開催でした。今年度は人数制限があったとはいえ、有観客で予定通り開催することができ、生



徒・教職員一同にとつて、とても有意義な令和四年度のスタートを切ることができました。生徒一人ひとりが主役で、誰もが楽しむことができました。フェスティバルだったことに間違いはないでしょう。今号では、高校三年生の各運営委員代表の武庫川フェスティバルに対する想いを取り上げています。

令和五年度は制限なく、従来の行事の形で皆様にお楽しみいただける行事となることを願っています。

武庫川フェスティバルを終えて、テーマである「紡ぐ・織りなす」のようにたくさんの方の繋がりが感じられ、全員の個性が輝き、主役となった二日間になりました。今年度は三年ぶりに二日間かつ有観客での開催となりました。そして、生徒の皆さんだけでなく、保護者の方々など多くの方々が、当日の活動の成果を十分にご覧いただくことができました。本日に嬉しかったことです。



各部活動や委員会の展示、模擬店では、列が途絶えないところも多くあり、細部までそれぞれの趣向が凝らされていて、すてきなものでした。また、ステージでの演技発表、素人名人会も、参加者全員の努力の成果がひしひしと伝わってきて、とても感動しました。

準備をする中で多くの壁にぶつかり、挫折そうになることもありましたが、二日間を通して皆さんが元気に楽しむ姿を見て、ここまでやってきてよかったと心から思うことができました。今回の武庫川フェスティバルが、皆さんの学校生活の大切な思い出となればうれしく思います。そして、今回訪れた繋がりが、この先も長く、さらに大きくなっていくことを心から願っています。

最後になりましたが、様々な形で協力してくださった全校生徒の皆さん、ご尽力いただいた先生方、関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

運営委員長 岡本 茜

今年度の武庫川フェスティバルでは、展示委員として、丸アト・部活紹介文、そして装飾としてガーランド・モニュメント・垂れ幕を担当させていただきました。丸アトと部活紹介文では、文化館を始め、多くの部の方々に協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。



また、モニュメントを作成してくださった美術部の方、垂れ幕を作成してくださった書道部の方にも心から感謝の言葉を贈りたいと思います。多忙な時期にも関わらず、ご協力いただき武庫川フェスティバルを鮮やかに彩ってくださいました。

そして、正副委員長会を通じ、全クラスの皆さんにご協力いただいたガーランドをご覧になりましたか。全校生徒一人ひとりの想いを紡ぎ、織り成したガーランドはかわいく、校内にすてきな華を咲かせてくれました。

今回、展示委員を務めて感じたことは、生徒の皆さんや、先生方からのたくさんのご支援のおかげで、仕事を全うできたということです。どんなに大変でも、運営委員会のメンバーや、クラスの友人、先生方、そしてたくさんの方の支えてくれる仲間がいたからこそ、大変な状況も乗り越え、また、自らを成長させることもできました。この二日間は、六年間の中で最も充実した二日間となりました。支えてくださった全ての方々に感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

展示委員代表 平岡 ひなの

長年、マーチングバンド部で受け継がれてきた「イベント委員」のバトンを託され、本番に向けて準備を進める中で、私は大事なことを学ぶことができました。それは、「報告・連絡・相談」をきちんと行うことの重要性です。

出演者の募集を始めた頃は、事前に撮影をして武庫川フェスティバル初日に放送する予定で準備を進めていました。しかし、先生方のご配慮もあり、生放送で開催することに決まりました。そして、急遽、三年以上の先輩の資料をひっくり返すことになりました。

当時は中学生だった私が、高校三年生の先輩がどんな行程をこなしてこられたのか見ているはずがなく、とにかく先輩が残して下さった資料を読み漁り、それに頼るしかありませんでした。家でも教室でもバタバタしていましたが、先生への報告、出演者・司会者への連絡、そして同学年への相談をこまめに行うことで、乗り切ることができました。

準備を進めるなかで、出演者集めに協力してくれたり、私が気付いていないことを指摘してくれた同学年には、特に感謝しています。そして、多くの方々のご尽力のおかげで、今年も無事、素人名人会を成功させることができました。出演者・司会者の方、放送部の方、先生方、当日会場で盛り上げてくださった来場者の方々など、素人名人会に関わって下さった全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

イベント委員代表 稲田 里歩

今年度の武庫川フェスティバルでの模擬店は、昨年度のように有志を募って行うのではなく、高校三年生の各クラスおよび、高校二年生の有志生徒により、計九つの模擬店を実施しました。部活動への入部の有無は関係なく、生徒一人ひとりが役割を持ち、学校の一員として武庫川フェスティバルに関われるよう、このような形で実施となりました。



また、三年ぶりの有観客での開催となり、保護者の方や来客の方々が楽しまれている様子も多く見ることができました。模擬店を運営している生徒にも、たくさんの方の笑顔が見られたことも、本当にうれしく感じ、模擬店委員としてがんばってきただけで良かったと改めて思うことができました。準備や運営を行う中で、様々な場面で協力してくださった方々や模擬店に来てくださった方々、全ての方に感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当に、ありがとうございました。

模範店委員代表 岡村 美玖



今年度の武庫川フェスティバルに向けて、ステージ委員会は今年度の二月から活動を開始しました。ステージ委員会は、武庫川フェスティバルで舞台発表に参加する「コーラス部」「マーチングバンド部」「放送部」「箏曲部」「オーケストラ部」の、それぞれの実行委員で構成されています。今年度の実行委員会は、最初から困難の連続でした。コロナの影響で直接会って会議ができないうちもあり、リモートでの会議になることもあり、四月になって急に開催形式が変わることが決まり、今までの二年間とは違うステージの運営も考えなければならませんでした。また、私自身も何かの代表をするというのは初めての経験だったので、委員会のスタートは不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、実行委員の皆が協力してくれて、次第に絶対に成功させたいという思いが強くなりました。忙しいスケジュールの中で何度も会議を重ね、より良いステージにするために皆で試行錯誤しました。その中で失敗もたくさんありましたが、より良いステージになるよう、必死にがんばりました。その結果、本番は何事もなく全部活無事に終えることができました。



ステージ委員 中村 愛生

ブラウナリスウィーク 誕生逸話

五月十日(火)～十四日(土)は、今年度最初のブラウナリスウィークでした。さて、このブラウナリスウィークとは一体、どのような週間なのか考えてみましょう。



この活動は、二〇〇九年に天皇陛下(当時皇太子殿下)が本学に行啓された際、イギリス・オックスフォード大学で催されるブラウナリスウィークが話題にあり、これに感銘を受けた武庫川学院の大河原重学院長の呼びかけで二〇一五年五月に始まり、毎月一週間、「飢餓に苦しむ人たちに思いを馳せ、奉仕の精神を培う機会」として、本学四つのキャンパスの食堂で玄米を使ったオリジナルメニューを提供しています。売上十パーセントを寄付金などを認定NPO法人「国連WFP協会」を通して、国連WFPに寄付しています。ブラウナリスウィークの提案やブラウナリスウィーク中のメニュー配布等のほか、兵庫県丹波市で田植えや稲刈りを体験するとともに、収穫した玄米を販売しています。本校でも、家政部によるメニュー考案をしていた頃や、文化部発表会(現在の武庫川フェスティバル)時の玄米販売などに取り組んでいました。感染症拡大の影響で、二〇二〇年二月以降、活動の休止を余儀なくされ、思うように活動できない状況も続いています。総合的な探究学習でSDGsに関する学習を深めている今だからこそ、本校でもさまざまな活動を再開していきたいです。六月のブラウナリスウィークは、十四日(火)～十七日(金)です。生徒・教職員の皆さん、ふるってご賞味ください。

夜空ノムコウ…星のふるさとを訪ねて ～スバル望遠鏡で探る星・惑星現場～

昨年度、SSH公開講演会にお越しいただく予定でしたが、感染症拡大に伴い、中止となりました。六月に改めてお越しいただき、ご講演をいただく機会を作ることができました。詳細は次の通りです。講演会に出席をご希望の方は、本校ホームページをご確認ください。

日時 令和四年六月十一日(土) 午後二時～午後四時半
場所 本校 図書館棟四階AV1
講師 大朝 由美子氏(天文学者)
埼玉大学教育学部教育学研究科 大学院理工学研究科 戦略的研究部門X線光赤外線宇宙物理領域 准教授

保護者会・高三向け進路説明会

五月十九日(木) 保護者会が開催されました。感染症拡大防止の観点により、保護者の方々にお越しいただけるのも三年ぶりとなりました。

体育館で高校三年生向けの進路説明会があり、全体会として、「学校長あいさつ」「学校生活について」「学習について」「カウンセリングルームあり」「育友会活動について」「連絡事項」がありました。進路説明会・全体会については、高校二年生以下の保護者の方々に感染症対策を考慮し、同じ時間に配信される映像を各教室よりご覧いただきました。その後、学級懇談会があり、学級担任と学級の保護者の方々と対面し、様々な話を共有する機会となりました。

六月には公開授業日もあります
六月七日(火)～十日(金)の午後の校時は、保護者向けの公開授業日です。授業によつては、自教室以外で授業をしている場合もございますので、あらかじめご確認ください。なお、来校される際には「入校許可証」をご持参いただきますよう、お願い申し上げます。

前期教育実習が始まります
五月二十三日(月)～六月十一日(土)の三週間、前期教育実習が行われます。
国語科一名、英語科四名、保健体育科一名、情報科一名、合計七名が教員を志し、本校での実習に取り組みます。

宿泊研修へ行ってきました
中学三年生は、五月二十四日(火)から二十七日(金)まで、北海道方面へ研修旅行へ行ってきました。中学二年生は、五月二十五日(水)から二十七日(金)まで、白馬・上高地方面へ研修合宿へ行ってきました。それぞれの様子は、学校のホームページで随時お知らせします。

ホームカミングデー「鳴松会の日」に出演しました
五月二十二日(日)、武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、ホームカミングデー「鳴松会

の日」が開催されました。今年は、附属中高が特別公演の機会を与えていただき、オーケストラ部・コーラス部、バトントワリング部、マーチングバンド部の四つの部活動が出演させていただきました。この「鳴松会」とは、武庫川学院の同窓会組織です。高等女学校、女子専門学校、高校、大学、専攻科、大学院の卒業生・修了生が入会し、会員数は国内・海外あわせて十九万人を超えるまでになりました。

園芸部が日中友好のあさがおを植えました

二〇〇八(平成二十)年六月下旬、福永博生様(中国清朝「最後の皇帝」愛新覺羅溥儀の弟君溥傑氏の次女)より本校の上田元学校長に私信が届き、「ご縁のある先生のご自宅のお庭にお植え頂けたらと存じ、五粒お入れ申し上げました」と朝顔の種子が同封されていました。この種子は、一九六一(昭和三十六)年に溥傑様がお母様の浩様とともに、中国でお父様の溥傑氏と十六年ぶりに再会された折、浩様が北京のご自宅で大切に育てられ、毎年花を咲かせ、浩様ご逝去後も、溥傑氏がずっと守り育てられたそうです。東京大学と学習院大学の教授であった山井勇氏ご夫妻が中国政府から招かれ、溥傑氏のご自宅を訪問された際に、溥傑氏から「中日友好の朝顔」と手渡されました。山井氏は、溥傑氏の学習院大学での漢文の恩師塩谷温氏の甥であり、溥傑様のお姉様慧生様の漢文の恩師でもあられる方です。



☆様々な分野での活躍☆

【柔道部】

◇令和四年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会兵庫県大会
5/5(兵庫県立武道館)
・70kg級 長崎ひあり(高2) 2位

【水泳部】

◇第30回近畿私立中学校高等学校水泳競技大会
5/7・8(丸善インテック大阪プール)
・中学生女子の部 総合優勝
・4×100mメドレーリレー 第1位
平井 那歩(中3)・山川 真歩(中2)
國森 好奏(中2)・江口 陽菜(中2)
・4×100mフリーリレー 第2位
平井 那歩(中3)・山川 真歩(中2)
國森 好奏(中2)・江口 陽菜(中2)
・200mバタフライ 第2位
國森 好奏(中2)
・200m平泳ぎ 第2位
山川 真歩(中2)
・50m自由形 第3位
平井 那歩(中3)

*その他にも各部活動、大会や発表会などに出席・参加し、活躍中です。

6 月 行 事 予 定

日	曜	行 事 予 定
1	水	B ※第1回育友会評議員会
2	木	週 高2文策(3限まで授業・国立文策劇場) 中2わくわくステージ(3限まで授業・ピッコロ劇場)
3	金	
4	土	休業日 関西大学オープンラボ(午後)
5	日	
6	月	A 内科・運動器検診(～10日) 中間考査得点確認票配布
7	火	週 定期考査通知表配布 公開授業(～10日) 公開授業(保護者 午後) GEC講演会(7限)
8	水	公開授業 保護者(午後)
9	木	
10	金	
11	土	MS タイム SSH公開講演会(午後) GTEC(高3 GEC+希望者) オープンスクール(9:45～11:45)
12	日	
13	月	B 全校各委員会(16:00) 高2CS校外学習(終日)
14	火	週 ブラウナリスウィーク(～17日)
15	水	
16	木	※防災訓練(45分×6+訓練40分+LHR40分)
17	金	
18	土	休業日 附属幼稚園・保育園との異年齢交流(午前) 清掃クリーン作戦(午前 予備日無し)
19	日	第36回サマーコンサート(14:30開演 公江記念講堂)
20	月	A 全校朝礼(8:35グラウンド) 空気検査・照度検査(HB棟)
21	火	週 高3実力考査 進研模試(高1・高2)
22	水	
23	木	歯科検診(4/5・6欠席者 昼休み)
24	金	水質検査(プール)
25	土	MS タイム 高3進研模試(午後 希望者) 第1回漢字検定(午後 希望者)
26	日	高3進研模試(終日 希望者)
27	月	B
28	火	週
29	水	塾対象学校説明会(11:00～12:15)
30	木	期末考査(中学 ～7/5 高校 ～7/6)